

負担金検証調書【令和4年度交付分】

1 負担金の予算決算等について

負担金の名称	愛知県防災ヘリコプター運営協議会負担金		市の担当部課	消防本部消防総務課		問い合わせ先	65-3122	
負担金の金額	予算額	1,016,000 円	当初交付額	944,388 円	決算額	944,388 円	前年度決算額	1,082,428 円

2 負担金の交付先について

交付先の状況	名称	愛知県防災ヘリコプター運営協議会		(法人格の有無)	無	代表者	愛知県防災安全局防災部消防保安課長		所在	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2		
	構成団体	愛知県並びに県内54市町村、消防一部事務組合及び消防広域連合										
	設置の根拠	愛知県防災ヘリコプターの円滑な運行管理を図り、愛知県の消防防災体制の充実強化に資することを目的とする										
	意思決定の方法	協議会、委員会										
事務局の体制等	所在	愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2				代表者	愛知県防災安全局防災部消防保安課長					
	事業資金の管理責任者					事業資金の管理者						
	契約、支出 決裁の方法	(事務局が市である場合) 市のルールに準じているか？				完全準拠でない 場合の内容等						
		(事務局が市でない場合) 具体的に記述		愛知県に準ずる。				証拠書類 の有無	有			
	事業資金等の保管方法	金融機関に預け入れ、通帳印鑑は事務局で保管										

3 負担金の対象となる事業等について

事業内容 (事業の全体像)	<ul style="list-style-type: none"> ヘリコプターの運営に要する経費のうち、救助隊員の人件費に係る市町村負担金の徴収及び救助隊員が所属する市町村等への当該負担金の支払い。 救助隊員が所属する市町村等への助成。 ヘリコプターの運営に係る連絡・調整。 愛知県が名古屋市に委託したヘリコプターの運営方針の協議。
(犬山市の役割)	救助隊員としての職員の派遣(区域輪番)、訓練参加、研修会参加
事業実績 (具体的な手法)	緊急運航(災害対応)、市町村合同訓練、市町村式典等への参加
負担金を交付して 市が得たメリット	山岳救助事案における傷病者収容及び搬送、市開催式典(消防出初式などへのヘリコプターの参加、犬山市消防本部との合同訓練及び教養研修の実施)

4 負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額(当初支出額)	944,388 円	精算の有無	無	精算(返還)額	0 円	精算後の負担金の額	944,388 円
負担金の対象となる全体事業費(精算がある場合は精算前の額)	収入額	68,158,886 円	支出額	67,480,120 円	余剰額	678,766 円	
構成員の負担割合(根拠)	均等割 市287,736円 人口割 市282,372円(負担率1.40%) 面積割 市114,736円(負担率1.88%) 財政規模割 市259,544円(負担率1.33%)						
余剰額が発生した場合の取扱い	翌年度へ繰越					繰越額	678,766 円
交付先における収入の状況(精算前の額)	県交付金6,864,000円、市町村負担金61,000,004円、繰越金294,882円						
交付先における 支出の状況	項目	予算(当初支出時の想定)		決算(実績)			
		積算等	金額	積算等	金額	契約の方法、相手方等	
	防災航空隊員 派遣助成金	名古屋市、田原市、尾三消防組 合、丹羽広域事務組合、大府市、 犬山市、衣浦東部広域連合	6,864,000 円	名古屋市、田原市、尾三消防組 合、丹羽広域事務組合、大府市、 犬山市、衣浦東部広域連合	6,864,000 円	助成金	
	防災航空隊員 人件費交付金	名古屋市、田原市、尾三消防組 合、丹羽広域事務組合、大府市、 犬山市、衣浦東部広域連合	65,604,000 円	名古屋市、田原市、尾三消防組 合、丹羽広域事務組合、大府市、 犬山市、衣浦東部広域連合	60,614,580 円	交付金	
	役務費		6,000 円		1,540 円		
	予備費		1,000 円		0 円		
	合計		72,475,000 円		67,480,120 円		
	積算がない場合 の特記事項						